

平成27年度 見沼区対話集会開催概要（7月）

No.	「質問・要望・提案」の内容	「回答・見解・処理方針」の内容
1	<p>・地域防犯活動助成金の助成対象となる青色防犯パトロール車装備品について、マイクやカセットデッキは必要なのか。 また、ドライブレコーダーは補助の対象となるか。</p>	<p>・防犯パトロールは青パトだけでなく人的パトロールもあり、その活動の内容や方法によって備品は変わってくるので、必要なものを検討してください。 また、ドライブレコーダーは、現在、対象外となっています。 【見沼区役所区民生活部総務課】</p>
2	<p>・放置自転車があった場合は、どこに連絡すればよいのか。</p>	<p>・くらし応援室か警察へ連絡してください。警察では事件性や盗難の可能性を確認したうえで、くらし応援室と連携します。 【見沼区役所くらし応援室】</p>
3	<p>・5月から綾瀬川に不審な軽自動車があり、時々人が来て食事をしたり煙草を吸ったりしている。注意したところ「故障している」と言われた。どこに連絡すればよいのか。</p>	<p>・警察で事件性の有無などを確認した上で、警察とくらし応援室が連携して撤去指導を行います。 【見沼区役所くらし応援室】 7月21日、大宮東警察から所有者に撤去指導が行われ、車両は撤去されました。</p>
4	<p>・街路灯に木の枝がかかり暗かったため、くらし応援室に連絡したら対応していただけたが、犯罪が起こる前に速やかに対応していただけたのか。</p>	<p>・街路灯が切れている場合、概ね3日以内に交換していますが、民地の木の枝については所有者に依頼するため対応に時間がかかります。くらし応援室へ連絡願います。 【見沼区役所くらし応援室】</p>
5	<p>・地域で事件があった場合、自治会防犯担当者への情報連絡ルートはないのか。</p>	<p>・情報は、警察から地域の学校へ、また通報者から学校へ等、様々なルートにより情報が伝達されます。そして学校から保護者に各学校の安心メールで連絡されることとなっています。その情報は、学校に防犯担当者として登録していただければ提供を受けることができます。 【見沼区役所区民生活部総務課】</p>
6	<p>・七里の踏切近くの角地について、1メートル程度ごみが道路に出ており、通行の際に危険。現在、張り紙があるが、今後どのように対応するのか。</p>	<p>・張り紙は看板を支えている支柱の撤去予告です。ご指摘の「ごみ」については、ゴミかどうかの判断が必要になります。その判断を現在している状況であります。 【建設局北部建設事務所土木管理課】</p>
7	<p>・七里の踏切近くの道路について、拡幅工事が行われているが、まだ一軒残っている。今後どのように対応するのか。</p>	<p>・平成27年度中に移転する予定です。移転の進捗状況を勘案し、工事を進めてまいります。 【建設局北部建設事務所道路安全対策課】</p>
8	<p>・県道2号線とさいたま鳩ヶ谷線が交差する七里駅入口交差点付近では道路が波打っており、低いところが雨で冠水してしまうので、対応していただきたい。</p>	<p>・根本的な対策を要するため、時間がかかりますが、ご理解をお願いします。 【建設局北部建設事務所道路維持課】</p>

平成27年度 見沼区対話集会開催概要（7月）

No.	「質問・要望・提案」の内容	「回答・見解・処理方針」の内容
9	<p>・地域には外国人が多いので、避難場所において通訳ができる職員を配置していただきたい、また、新生児の取り上げができる保健師を配置していただきたいと考えているが、対応していただけるか。</p>	<p>・直ちに職員だけで対応することは難しい状況です。この要望以外にも避難場所運営訓練をとおして避難場所運営を円滑に運営する課題は多くあり、今後、各避難所運営訓練の振り返りの会議を予定しているため、他の避難所の意見も聞いていきたいと考えています。 【見沼区役所区民生活部総務課】</p>
10	<p>・今回の訓練に際し、防災アドバイザーに協力を依頼した。専門知識は豊富であるが、事前に訓練や運営委員会の状況を理解して、アドバイスをさせていただく必要があるのではないか。</p>	<p>・避難所の訓練メニューの策定や事前研修について防災アドバイザーに協力をいただきました。豊富な知識を活用するため、防犯アドバイザーと話し、情報を共有しながら訓練のレベルアップにつなげられるようにしていきたいと考えています。 【見沼区役所区民生活部総務課】</p>
11	<p>・マンホール型トイレは、本下水道に接続するかたちにしないのか。</p>	<p>・大規模災害時は下水道処理場に被害が発生することも想定されるため、汲み取り方式としています。下水道の耐震化は莫大な経費がかかるため、今後の課題と認識しています。 【見沼区役所区民生活部総務課】</p>
12	<p>・県営砂団地自治会では、団地全体を大きな「施設」と想定し、支え合うことに挑戦してきた。今後、地域包括システムに期待するとともに、重要なテーマとして自治会で取り組むチャンスと考えている。</p>	<p>・地域包括ケアシステムにおいて、「自助・互助・共助・公助」が連動したシステムを作ることが重要であると認識しています。今後、見沼区の特性を生かし、見沼区らしい地域包括ケアシステムの構築を目指していきたいと考えています。 【見沼区役所健康福祉部高齢介護課】</p>
13	<p>・自治会加入促進のため、自治会加入のメリットを考える必要があるのではないか。</p>	<p>・自治会への加入は、地域の輪を広げ、情報交換や災害など有事の際の助け合いにつながる等のメリットが考えられます。自治会活動を広く知っていただくため、見沼区自治会連合会では、年一回広報紙展を開催し、自治会加入者だけでなく、未加入者も広報紙を見ることができる環境を作っています。各自治会においても、未加入者に広報紙を配布するなど、活動内容やメリットを知っていただくことも、加入促進のための一つの方法ではないかと考えています。 【見沼区役所区民生活部コミュニティ課】</p>